

こんど、神戸の井上章之さんから、まなぶ集会参加者に託して、きのこめる「カンパ箱」(写真)が寄せられました。カンパの由来についての便りとともに、ここに感謝の意をこめて、便りの全文を紹介します。

以上の役員が決定を見ているがいよいよ有明炭鉱の操業が近づいてくれ、またまた合理化が押しついで必要がある。

三池組の
みなさん、私
が兵庫県の中
間とともに
「三池にまな
ぶ会」に参加
させていただ
いてから、早
くも三年がた
つかり、無少
続けてまいりました。

汰し、「CO患者を守る会」の会費も滞納しておりますこと、深くおわびいたします。
 今年は私たちの職場からも、T君、K君の二人を含め、兵庫県からも多数の方々が、みなさん方との連帯の強化と、「三池の火」をさらに全国にすすみへと拡げていくために、今晚出発します。

私も神戸駅まで見送りに出るところですが、昨年四月末私自身が「一日十円カンパ」をはじめました。「カンパ箱」がどうか一杯になりましたので、一緒に帰ってもらいます。

実は私は酒が大へん好きでしてときどきはめをはずしたりいたします。

私たち市職の仲間も「自治体の帝國主義的再編強化」「軍國主義化」を旨とする当局的、一貫した合理化攻撃の中で、職場での闘いをさらにねばり強く、と頑張っておりますが、なかなか思うようにま

おかげで最近、そんなに無茶苦茶には飲まなくなり、カンパ箱のご利益「ビタリ」というところですね。

さらに今後は「〇〇カンパ」と位置づけて、新しい「一日十円カンパ」を続けるとともに、職場での「生命を守る反合理化闘争」をねばり強く頑張りたいと思います。

×

井上さんは、神戸市職まなぶ友友会の会所属。大変ありがとうございました。（住所）神戸市垂水区狩口合四丁四二一（二〇四）